

豊橋市 議会だより



No.
287

平成25年2月1日発行

主な 内容	12月定例会の概要	2~3
	いっぱん質問	4~11
	請願	6
	陳情	7
	委員会の動き	8~9
	意見書	10
	議決結果	12
	3月定例会の開催日程	12



「舞妓」昭和37年

中村正義(なかむら まさよし)
大正13年(1924)~昭和52年
(1977)

現在の豊橋市大橋通三丁目、
こんにやく屋「織九」の長男として
生まれる。幼少より絵を描くこと
を好み、22歳のとき日展で活躍
する中村岳陵に入門。36歳で日
展審査員となるが、自由な創作活
動を求めて日展を離脱。その後、
蛍光塗料やボンドなど奇抜な素
材も用いながら、舞妓や顔をテー
マに生々しい人間性表現を追求
し、生涯にわたり日本画の可能性
に挑戦した。

豊橋市美術博物館収蔵品展「中村正義をめぐる」中村正義とその関連作家の作品約70点を紹介。
2月10日(日)まで。

豊橋市議会だより編集委員会

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL 51-2920 FAX 55-9020
gikai-giji@city.toyohashi.ig.jp

平成24年12月定例会

2期目佐原市長の

所信をただす

12月定例会は、11月26日から12月13日までの18日間の会期で開かれました。

初日は、再選した佐原光二市長の所信表明が行われました。その後、近田明久議長の辞職に伴う議長選挙を行い、近田明久議員が再選しました。続いて、佐藤多二副議長の辞職に伴う副議長選挙を行い、宮澤佐知子議員が当選しました。

12月3日は4人の議員が会派を代表して質問し、4日と5日は12人の議員が一般質問を行いました。

いました。

最終日の13日には、審査を終了した議案をそれぞれ可決等しました。その後、委員会への付託を省略した議案3件を可決した後、市長から4件の報告を受けました。

続いて、議員提出の会議規則の一部改正案及び委員会条例の一部改正案を可決した後、意見書4件を可決しました。



主な議案の概要

▼一般会計補正予算

トリアージュタッグ等の配備、新規就農総合支援事業費補助金、豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業、道路維持改良受託事業など合計2億2119万1000円を補正するものです。

▼総合動植物公園事業特別会計補正予算

寄附金および募金の7万円を総合動植物公園整備基金へ積み立てするために補正するものです。

▼手数料条例の一部改正

都市の低炭素化の促進に関する法律の施行等に伴い、建築

基準法等関係手数料について所要の改正をするため、現行条例の一部を改正するものです。

▼地域主権一括法の施行に伴う関係条例制定および一部改正

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（地域主権一括法）の施行により、新規制定条例14件および現行条例の一部改正9件を行うものです。

▼財産の取得

アイプラザ豊橋用地として、愛知県から1億5131万6880円で購入するものです。

▼物品購入契約の締結

防災ラジオ30000台（2425万5000円）をワキヤ技研（株）より購入するものです。

▼指定管理者の指定について

穂の国とはし芸術劇場の指定管理者として公益財団法人豊橋文化振興財団を平成25年4月30日から平成28年3月31日まで指定するものです。

就任あいさつ



宮澤佐知子 副議長

私は、このたび議員各位のご推挙により、副議長の要職を担うことになりました。大変光栄に存じますとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

副議長として議長をしっかりとサポートし、これからの豊橋市の発展と38万市民のよりよい生活の実現のため、二層の努力を重ねてまいります。

また、「市民に開かれた議会」「市民に分かりやすい議会」を目指し、議会のさらなる活性化や議会機能の向上に積極的に取り組んでまいり所存であります。そして、今まで以上に市民の皆様へ信頼される議会づくりに全力を傾注していく覚悟でございます。

今後とも、市民の皆様のご温かいご理解とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。就任のごあいさついたします。

市長の所信表明

本会議初日には、第33代豊橋市長に就任した佐原光一市長の所信表明が行われました。以下に基本的な考え方と3つのまちづくりの方向性について、要旨を記載します。

これまでの4年間は、常にチャレンジ精神を持ちながら脇目も振らず走り続けてきました

が、これからの4年間は私の政策の真価が問われる時であると認識しており、今回の選挙を受け、改めて自分の信じる政策を全力で推進していきます。

多くの魅力や多様な可能性を有する東三河の地域力を強化し、今まで以上に自立した地域をつくるために、東三河広域連合の実現に向けてリーダーシップを発揮していきます。

また、東三河県庁とも力を合わせながら、三遠南信地域の連携にも努めていきます。こうした取り組みを進めるとともに、設楽ダム、三河港、浜松三ヶ

日豊橋道路や名豊道路などの広域的な社会基盤の整備促進に力を注いでいきます。

▼元気なまちづくり

「もつと元気で明るく誇りを持てるまち」にするため、首都圏におけるシティブロモーション活動の拡大、国際自動車戦略港湾の推進や自動車ナンバー特区の創設など新たな自動車関連産業の創出、名豊道路周辺における農地の整備と産業用地の確保、科学技術を生かした新農業や健康長寿産業の展開、駅前大通南地区の再開発や西駅地区の活性化などに努めます。

▼安心なまちづくり

「もつと人にやさしく安心して暮らせるまち」にするため、巨大地震から津波までを想定した減災計画の策定、公共施設の防災拠点化、総合周産期母子医療センターの整備を進めるとともに、太陽光発電の積極的な導入、下水汚泥を使ったバイオマスエネルギーの活用など環境対策の充実を図ります。

▼希望のまちづくり

「希望を持つて夢を育むことのできるまち」とするため、いじめ問題など学校生活におけるサポート強化、市立特別支援学校の建設や障害児教育の充実、穂の国とよはし芸術劇場プラットを中心にした新たな文化芸術の創造と発信、のんほいパークの再整備、南地域図書館の建設、ホンモノ体験による青少年の育成などに努めます。

私の理想とするまちづくりを市民の皆様と力を合わせ、

ともに知恵を出し汗を流しながら歩んでいきたいと考えています。市政運営においても、徹底した行財政改革と職員の資質向上に努めるとともに、窓口サービスの充実や職員のホスピタリティを高め、市民に愛される市役所を作ります。

これからの4年間、「輝き支えあう水と緑のまち・豊橋」を目指し、これまでまいてきた種を育て花を咲かせるため、全身全霊を尽くします。



会議日程

- 11月19日 議会運営委員会
- 22日 議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会
本会議(第1日)
- 30日 議会運営委員会
- 12月3日 本会議(第2日)
- 4日 本会議(第3日)
- 5日 本会議(第4日)
- 6日 建設消防委員会
- 6日 福祉教育委員会
- 7日 環境経済委員会
総務委員会
- 10日 一般会計予算
特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 本会議(最終日)

市政全般に対する

いっぱん質問

16人の議員が、市長に質問しました。

質問順に掲載しています。

広域連合実現に向けての 取り組みについて

新政未来 坂柳泰光議員



問 佐原市長2期目の市政運営に当たり、広域連合実現に向けての取り組みと課題、および今後のスケジュールについて、また、広域連携のための幹線道路ネットワーク(名豊道路、浜松三ヶ日・豊橋道路)などの整備促進に向けた取り組みについて聞きたい。

答 広域連合実現に向けての取り組みとして、東三河広域協議会において、本年から広域連合を軸とした具体的な検討を行っており、現在、東三河にふさわしい広域連合のあり方や所掌する事務などについて協議を重ねているところです。課題としては、広域連合の組織や議会のあり方、将来の権限移譲も含めた広域連合が実施すべき事務の内容や市民への周知と理解などが挙げられます。そして、来年度から本格的な準備に取りかかり、議会の理解を得る中で、平成26年度後半の設置を目指していきたいと考えています。

また、幹線道路整備に関する取り組みとして、名豊道路については、来年春季に豊橋東バイパスの全線供用開始が予定されており、市内で全線開通されます。浜松三ヶ日・豊橋道路は、県が平成20年度から24年度までの予定で三遠地域の新たな連携軸のあり方など基礎的な調査を実施しています。国も現在、新たな社会資本整備重点計画を検討しており、本道路が計画に位置付けられるよう関係機関に積極的に働きかけて、早期実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

佐原市長2期目の市政運営に当たり、これからの市長の基本姿勢と目指すまちづくりへの取り組みについて
来年度予算編成に向けて、歳入の見直しと取り組むべき重点的課題について

2期目佐原市政の 取り組みについて

豊流会 古関充宏議員



問 2期目佐原市政の今後4年間の選挙公約・政策への取り組みについて聞きたい。

答 東三河広域連合の実現と広域的な社会基盤の整備促進について、東三河広域協議会の中で、さらに具体的な協議を進め、設楽ダム、三河港、名豊道路など、広域的な社会基盤の整備促進においても8市町村そろって要望活動に取り組むたいと考えています。

元気で明るく誇りを持てるまちづくりについて、シティプロモーションの一層の拡大や、新たな自動車関連産業の創出、名豊道路周辺の新たな産業用地の確保など、地域の特性を生かした産業の育成とともに、駅前大通南地区の再開発や西駅地区の活性化など、ハード施策にも力を入れていきたいと考えています。

人にやさしく安心して暮らせるまちづくりについて、減災計画の策定や公共施設の防災

希望を持って夢を育むことのできるまちづくりについて、学校生活でのいじめ問題への対応や、市立特別支援学校の建設による子どもたちの人づくりの教育を、また、「プラットフォーム」として新たな文化芸術の創造と発信や、のんほいパークの再整備などを進めたいと考えています。

その他の質問項目

市長選挙の認識と今後の佐原市長の市政運営について
新年度の予算編成の取り組みと考え方について

再生可能エネルギーの活用について

公明党豊橋市議員 鈴木義則議員



問 本市の地域特性を生かした再生可能エネルギー（太陽光、バイオマス等）活用の考え方について聞きたい。

答 本市には太陽光、風力、バイオマス、小規模水力などの再生可能エネルギー資源が存在し、その活用の可能性が考えられます。特に全国的に見ても大変恵まれた日照条件を生かした太陽光発電については、全小中学校への設置をはじめとして、これまでに公共施設で1000キロワット（1メガワット）を超える設備を保有し、住宅用の太陽光発電システムの導入支援や市有地を活用したメガソーラー発電に着手するなど、全国的に見てもトップクラスのスピードで導入を進めており、今年度末には累積で22メガワットの規模となります。

さらに、バイオマスエネルギーの活用策の一つとして、中島処理場から出る下水汚泥からメタンガスを取り出し、エネルギー



活用について

活用を図る施設の整備について、国土交通省の支援を受けながら検討を進めているところです。

また、東三河連携の取り組みとしては、北設地域の林産資源を生かした木質チップやペレットを燃料とした施設園芸や、回収した食用油などを精製したBDFの利用などについても挑戦を始めたところです。

今後、こうした地域の持つ多様なエネルギー資源を生かして、新たなエネルギー事業展開にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

明海地区の津波対策について

まちフォーラム 深山周三議員



問 東日本大震災からの教訓は一定整理されたと思うが、約1万人が勤める本市の重要な明海地区、臨海工業地域での津波に伴う勤労者の避難道と一時避難地の確保について、また地理的に人専用の人道橋設置など「命の道」が望まれるが、本市の津波災害に伴う対応について聞きたい。

海地区では、地区内に操業する企業が自主的に防災連絡協議会を設立し、現在、国との連携で津波避難対策の調査検討を行っているところです。

そうしたソフト対策とともに、本市産業を支える方々の安全な避難を実現するために、人道橋の設置なども有効な対策と考えており、ハード整備についても、地域からの要望もいただいています。

今後、臨海工業地域の重要な課題である避難方法について、対応を進めていきたいと考えています。

その他の質問項目
・市長の1期4年間の総括について
・市長2期目の基本姿勢について



明海地区

ホームページのご案内

豊橋市議会ホームページから、本会議、常任委員会、特別委員会の会議録を閲覧することができます。本会議は、平成7年5月から、各委員会は、平成11年5月から検索することができます。また、一般質問の録画中継が平成23年6月からご覧いただけます。

<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/gikai/>

豊橋市議会

検索



是非見てね



*豊橋市議会だよりで取り上げた12月定例会の一般質問や委員会での議案審査など、会議内容は平成25年3月から閲覧できます。

3期目となる加藤教育長が 目指す教育について

豊流会 伊藤篤哉議員



問 教育長2期8年の総括と機構改革等を踏まえ、3期目に向けて教育施策のこれから目指す先について聞きたい。

答 2期8年の総括ですが、私はいのちの教育を理念とし、教育環境を整えることを使命と捉え、教師の資質向上と学校内外の基盤づくりをすすめ、2期目では「地域ぐるみの教育システムの構築」を御旗に地域教育ボランティア制度を導入しました。

3期目に目指すところで、今後も教育課題の噴出が予想され、各学校が自主性・自律性を発揮し、自信を持って教育活動を展開していくため、教育委員会が揺らぐことのない教育の理念や哲学を持って、明確な教育ビジョンを指し示すことが重要と考えています。その理念や哲学の指針は、古き良き時代にあった日本人の精神性を学ぶ、すなわち「人間教育への回帰」という教育理念と確

信しています。子どもたちにごうした心を刻み込むことができ、子どもを慈しむ心と豊かな感性を持ち得た人間教師の育成に「層力を入れたい」と考えています。

また地域の文化や歴史、先人の生き方を中心に据えた郷土学習を展開していく環境が整ってきており、地域の原風景や、先人の偉業に触れた子どもたちは、郷土を愛し郷土に誇りを持つとともに、人として生きる指針を学ぶ、人間教育の場を創出できるものと考えています。

また、ライフステージに合わせて、学びと成長が重要であるとの考えから、校種を超えた連携教育に積極的に取り組んでおり、幼保小連携教育を進めるとともに、小中高連携教育を一層充実させ、東三河地域へ拡大することを視野に歩みを進めていきたいと考えています。

独居老人等への 支援策について

公明党豊橋市議員 鈴木博議員



問 ひとり暮らしの高齢者や障害者、生活困窮者の孤立死など、万一のときのために、「見守りと安心できるまちづくりに関する協定」などを締結する考えがあるか。また、「救急情報ネットワーク」を、希望者に無料配布するという事業を本市でも取り組む考えはあるのか聞きたい。

を地域で支え合う関係を構築することを目的として、来年度に実施予定の「ひとり暮らし高齢者等への支援に関するモデル事業」の取り組みの中で試行的に取り上げて、活用状況や効果などについて検証していきたいと考えています。

答 「見守りと安心できるまちづくりに関する協定」について、電気、ガス、水道などのライフライン事業者のほかにも、郵便事業者や新聞販売業者も加えて、プライバシー保護の問題や緊急時の通報のあり方などを協議し、多方面からセーフティネットの構築に向けて、より充実した見守り体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

提案された「救急情報ネットワーク」については、見守りツールとして有効な手段であると認識しています。そこで、高齢者

MEMO

※救急情報ネットワーク
三重県鈴鹿市が取り組んでいる事業。ひとり暮らしの高齢者などが急病で倒れた際に、ネットワークに記された識別番号から患者の名前、住所、持病、かかりつけの病院、緊急連絡先などの個人情報を確認するもの。

その他の質問項目

・小・中学校での課題について
・レアメタル等の回収、リサイクルの取り組み状況と課題について

趣旨採択

請願の願意は十分に理解できるが、財政状況等から願意を実現することが困難と判断される場合、「趣旨には賛成」という意味で議決すること。

請 願	議 決 結 果
○ 中学校卒業まで医療費無料制度を求める請願	趣 旨 採 択
○ 放課後児童健全育成事業(学童保育)充実を求める請願	趣 旨 採 択
○ 防災協働及び少子超高齢社会に対応する、平成25年度の生活家庭館及びアイプラザ豊橋活用に関する請願	趣 旨 採 択

百周年を迎える

図書館について

新政未来 尾崎雅輝議員



問 本市の図書館について、市民が楽しみ、わくわくする施設にするために、図書館奉仕をどのように認識し、取り組んでいるのか。

答 また、25年1月の開館100年を迎えるに当たり、将来目指す姿について聞きたい。

問 図書館法では、図書館奉仕活動は教育基本法や社会教育法の精神にのっとり、知りた、教養を高めたい、学びたい、楽しみたいと考える人に対して奉仕するという理念のもとに実施するものであり、その理念を実現し、さらに豊かに展開させていくためのものであると認識しています。

答 この理念にのっとり、図書館では図書の収集、貸し出し、保存はもちろんのこと、レファレンスサービス、他館との相互貸借、ボランティアの育成、講座や読書会等の開催、全域サービスの推進を図っており、さらにこの理念を発展させる中で、初めて

の絵本との出会い事業など、さまざまな図書館奉仕活動を積極的に実施しています。

また、将来目指す姿について、図書館の役割としての図書資料の収集と提供という基本は変わりませんが、昨今の電子図書、タブレット端末などの登場により、紙媒体と電子媒体の両方を備えたハイブリッド図書館に向けた取り組みが必要となつてきています。今後も図書館サービスが地域全体に提供できるように、ネットワークの拡大に努め、地域や市民の課題解決をサポートできるような、みんなの図書館を目指していききたいと考えています。

競輪事業の

集客増について

豊流会 小原昌子議員



問 競輪事業の集客増に向けての認識と対応、およびファンサービスについて、またスポーツとしての競輪場の活用について聞きたい。

答 レジャーの多様化によるファン減少とインターネット投票などの普及により、豊橋競輪場への入場者数は年々減少しています。集客増のため、ガールズケイリンなどの新たな試みに取り組んでいくとともに、特別競輪などの誘致に向けて力を注いでいきたいと考えています。

ファンサービスについては、普段来場しない女性や子どもにも親しんでもらえるように、ダンスイベントなどを開催し、多くの方に楽しんでいただきましたが、競輪ファン以外の方にはまだまだ知られていないため、地元競輪選手の協力のもと、市主催のイベントに出向き、競輪のイメージアップとPRに努めています。また、近隣市町村に對

しては、ポスター掲示を依頼するなど、積極的なPR活動に努めています。加えて、誰もが気軽に訪れやすい環境づくりのため、経営状況を見ながら、老朽化した施設の改築や新たな施設の充実に、できる限り前向きに取り組んでいきたいと考えています。

スポーツ施設としての競輪場の活用については、サイクルスポーツ、ケイリンが広く認知されるためにも、アマチュア競技団体へ競輪場を開放することは大変意義のあることであり、県内に3か所しかないバンクを生かして、市民が有効に利用できるように積極的にPRしていききたいと考えています。

その他の質問項目
・高齢者福祉の更なる充実について

陳 情

- ◆ 保育料軽減等に関する陳情
- ◆ 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情
- ◆ 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善、大幅増員を求める陳情
- ◆ 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情
- ◆ 愛知県の第3子保育料無料化事業費補助金を継続・拡充する意見書の提出を求める陳情
- ◆ 福祉・保育労働者の処遇改善・人材確保に関する国への意見書採択についての陳情
- ◆ 私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために、市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情
- ◆ 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情
- ◆ 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情
- ◆ 「子ども・子育て関連3法実施にあたっての意見書」提出を求める陳情
- ◆ 「空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書」に関する陳情
- ◆ 「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」の改正を求める意見書の採択を求める陳情

公共交通における「公」の果たす役割について

まちフォーラム

廣田 勉議員



問 今日、公共交通をめぐる状況は厳しく、地方自治体によって地域交通を確保することがますます重要な役割となっており、公共交通を維持再生し、活性化させていくためには公助を一層充実させることも求められる。公共交通の充実を図るため、「公」の果たす役割について聞きたい。

答 本市では、市民、交通事業者、国・県などともに公共交通の活性化に向けた計画づくり、計画に基づく施策として利便性の向上や維持・確保に取り組んできました。しかしながら、公共交通の利用者はいまだに減少を続けており、交通事業者の経営は非常に厳しい状況にあります。

一方、本市の公共交通はそのほとんどが民間事業者により運行されている中で、地域住民の移動手段としてだけでなく、環境やまちづくりなどの活用も期待されており、これからも

充実させていくことが求められています。そのための公すなわち行政の役割については、市民、交通事業者、行政それぞれの担うべき役割を明確にする中で、効果的、効率的に公共交通に関する事業と交通事業者への支援を行うこと、また地域で公共交通を支えていく仕組みづくりを行うことが重要であると考えています。



柿の里バス

その他の質問項目
本市の住宅政策について

輸入自動車港湾

三河港について

新政未来

山本賢太郎議員



問 現在検討中の国際輸入自動車特区の取り組み状況と今後の見通しについて、また、輸入自動車の貿易金額、台数とともに19年連続日本一の三河港と輸入自動車のまち豊橋を掲げたプロモーションについて聞きたい。

答 国際輸入自動車特区の取り組み状況としては、今年度中をめどに結論を出すという方向で、国土交通省と具体的な内容について、インポーターなどにも参加してもらい協議を続けているところですが、今後の見通しとして、実施される段階では、特区としてこの地域が認定を受ける場合と、法令等の改正により全国的な規制緩和となる場合があるため、インポーターの実施体制や制度開始の時期などを踏まえながら、この地域において全国の先例的な取り組みが実施できるよう、積極的な検討を進めていきます。今後、国際輸入自動車特区を

核として三河港に輸入自動車を中心に集積させ、自動車産業と観光をうまく連携させた取り組みに発展させていければと期待をしています。

三河港と輸入自動車のまち豊橋を掲げたプロモーションについての考え方としては、本市には三河港臨海部にフォルクスワーゲングループ・ジャパンの本社や複数の外資系自動車企業の輸入拠点が集積しているという、他都市にはない最大の長を港のにぎわいや地域活性化につなげていく必要があると認識しています。輸入自動車港湾・三河港をプロモーション活動の有力なツールの一つとして、経済界、愛知県東三河県庁などと連携しながら、輸入自動車のまち豊橋をPRしていきたいと考えています。

委員会の動き

議会活性化等

調査特別委員会

「議会基本条例について」素案の条ごとに協議を行いました。

(10月26日)
(12月19日)

建設消防委員会

『のんほいパーク』100万人プロジェクトの推進に向けて、総合動植物公園リニューアル、プロモーション活動の展開と経営体制の強化について調査研究しました。

(11月22日)

豊橋市市営住宅ストック総合活用計画(素案)について、市営住宅の現状と課題、ストック活用の基本目標などを調査研究しました。

(12月17日)

建設消防・環境経済
委員会連合審査会

豊橋市バイオマス資源利活用

ゾウ群れ飼育のアンケートについて

結基会 寺本泰之議員



問 ゾウ群れ飼育事業は、多額の費用を必要とする事業であり、ゾウ10頭の群れ飼育に要する購入費、えさ代、職員の人件費などを明記したアンケートにより、市民の理解を得た上で行うことが必要ではないのか。もう一度事業費を明記してアンケートを行う考えはあるのか聞きたい。

答 今回のアンケートは市民、小・中学校の児童生徒、来園者



リニューアルイメージ図

を対象にアンケートを実施し、5484名から回答をいただきました。今後の具体的な整備やリニューアル事業に反映していきたいという趣旨から行い、整備費は盛り込みませんでした。しかし、アジアゾウの群れ飼育も含め基本的な考えについては、理解とあわせ賛同を得ることができたと思っております。

教員の超過勤務への取り組みについて

日本共産党豊橋市議団 斎藤 啓議員

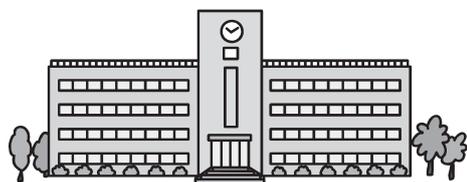


問 学校教員には精神的にも時間的にもゆとりが必要にも関わらず、教員の超過の勤務時間月100時間とは8時前に出勤し、夜9時10時に出るのが常態化している。教員の超過勤務についての認識と、多忙化解消の取り組みと課題について聞きたい。

答 教員の勤務は休憩が十分にとれなかったり、勤務時間に超えて業務に従事することも多く、教員の長時間過密労働が常態化しているという現状は十分認識し、重く受け止めています。学校組織として、校務分掌の平準化や会議の縮減、行事の精選などを行い、教育委員会として事務処理の簡素化、部活動の活動休養日の設定など指導していますが、バケツの水をスプーンですくう程度になっているのが現状です。単純に物理的な時間管理だけでなく、教員の勤務を語ることは難しく、組織の取り組みとあわ

せて、個々人の勤務に対する意識改革とタイムマネジメント能力を高める指導を継続していきます。また、在校時間の制限を設けて、業務が円滑に進むかどうかとも試験的に研究を行いたいと考えています。

その他の質問項目
・教員の不祥事の防止について



事業(仮称)について(検討案)、先導的官民連携事業調査の結果、事業の内容、効果など調査研究しました。

(12月17日)

総務委員会

豊橋市男女共同参画行動計画「とよはしハーモニープラン2013-2017」(素案)について、プランの重点目標と施策などを、豊橋市ファシリティマネジメント推進についての基本的な考え方等について、施設評価や設置目的を失った施設等の方向性などを、東三河における新たな広域連携体制について、これまでの取り組みや広域連携事業の検討などを調査研究しました。

(12月18日)

環境経済委員会

豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正の考え方(資源物の持ち去り行為の禁止)について、条例で規制する行為や罰則の適用などを調査研究しました。

(12月19日)

のんほいパークの

魅力向上について

新政未来 近藤喜典議員



問 のんほいパークにおけるテナント出店等の直営化の可能性、飲食スペースの現状の課題と今後の方向性、ポイントカードなどの連携による集客増と地域還元の可能性について、また指定管理者制度の見直しも含めたフードコート、テナント整備の可能性について聞きたい。

答 テナントの直営化の可能性については、雑貨や土産物などのグッズ販売といったバラエティに富んだテナントの出店は、来園者の便益向上の点を考えると傾聴に値し、今後費用対効果の検証なども行いたいと考えています。

飲食スペースについて、飲食店の数が十分とは言えない状況と魅力あるメニューの提供が課題であり、今後フードコートのような機能を有した屋内型広場を整備するなど、動物を観覧しながら食事を楽しむことができ、見る楽しさ、食べる楽しさ

が融合した飲食スペースの設置など、園内で一日を過ごせる魅力的な場の提供も園全体の活性化につながると考えています。

ポイントカードや電子マネーについて、運営会社が数多くあり、できるだけ多くのカードが使えるよう、その内容、方法などを多面的に調査し、入園者数増や地域還元などに向けて環境整備を整えることができればと考えています。

また、指定管理者制度の見直しを含めたフードコート等の整備は、本園の本来の役割や官民の役割分担などをしっかり踏まえる中で検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

・市民にもっとも身近な公園、街区公園の現状の課題と今後の可能性について

キャッシュカード盗難

事件について

豊流会 堀田伸一議員



問 平成22年11月に発生したキャッシュカード盗難事件の現在の捜査の進捗よく状況について。また、なぜ捜査機関に処罰を強く求める意思表示を示すべく告訴をしないのか、合わせて、豊橋市庁舎セキュリティ強化対策の内容について聞きたい。

答 事件発生後2年が経過しましたが、現在も捜査は継続しており、警察とは互いに連絡を取り合っているところです。告訴については、被害届が捜査機関に受理された時点で捜査が開始され、現在もその捜査は継続されていますので、告訴は必要ないものと考えています。

市庁舎セキュリティについて、協議会等の銀行印、預金通帳およびキャッシュカードについては金庫での保管を義務付け、鍵の保管は課長等が行い、キャッシュカードの暗証番号の管理は課長等のみで行うなど、取り

扱いの強化を図りました。また、閉庁日や夜間の入庁時において職員には身分証明書の提示を義務付けたほか、業者等には名簿を提出させ、腕章を着用させることで入退庁管理を強化しました。さらに、東館地下1階人荷用エレベータ前室に防災センターで開閉を管理する扉を設置し、職員および業者等と13階レストランを利用する市民の方との入庁ルートの区分を明確にしました。

低層階の職員の閉庁時および夜間の退庁については、階段室の扉に防災センター方向への移動についてのみ開閉ができるオートロック式のサムターンキーを設置し、また、外部からの入館ルートで監視カメラ未設置箇所6か所に監視カメラを追加設置しました。

次の意見書を可決し、国会や関係行政庁へ提出しました。

- ◆ 農業政策の立て直しを求める意見書
- ◆ 次代を担う若者世代支援策を求める意見書
- ◆ 自動車諸税の抜本的見直しについての意見書
- ◆ 第3子保育料無料化に対する助成の継続を求める意見書

意見書

法律に基づき、市の公益に関する事柄について、議決し、豊橋市議会として意見、要望を国会や関係行政庁へ提出するものです。

豊川の水源涵養林

保全について

豊流会 市原享吾議員



問 水道水源の安定確保については、本市においても水源環境を取り巻く状況は厳しいものがあります。将来の水道水の安定供給にも不安を感じるが、水源涵養林に対する認識と保全のための施策について聞きたい。

答 水源涵養林は、保水や洪水緩和、自然の浄化作用による水質浄化など、緑のダムとも呼ばれる重要な役割を果たしており、本市の水道水源である豊川においても、その源である段戸山には裏谷原生林が広がっており、愛知県内でも最大規模の原生林と言われています。関係機関と連携し、水源林の保全を担う人材育成や間伐推進事業等を実施していますが、水資源を将来にわたって保全することは、安全で安心、安価な水道水の安定供給に向け、重要であると認識しています。また、保全のための施策としては、現在、本市水道事業とし

て公益財団法人豊川水源基金に水源林保全流域協働事業負担金を拠出し、上流域の水源林管理などに役立てています。が、水源涵養林の保全については、豊川流域の自然環境全体の問題であることを考えれば、豊川水系の自治体全体での取り組みが必要であると考えています。

水質悪化は、結果として東三河の水道事業者への負担が増加することとなるため、今後とも関係部門との連携を図る中で継続して保全への対策に取り組んでいくことが必要であると考えています。

民間児童クラブへの

支援について

日本共産党豊橋市議団 牧野英敏議員



問 放課後児童クラブの老朽化した施設の安全対策と、民間施設を利用する児童クラブへの家賃、借地料の補助について、また、経済的困窮家庭への負担軽減を図る減免制度の充実と、児童クラブの設置における公設・民営化の考えについて聞きたい。

答 老朽化した放課後児童クラブの施設環境面について、安全対策は重要と認識しており、修繕等の施設管理に対する助言、社会福祉施設等の耐震化に関する調査を行うなど、児童クラブ管理者と協力して対応に努めています。民間施設利用の家賃、借地料の補助について、無償で借り受ける場合は、その土地や家屋に対しての固定資産税の減免制度があります。有償で借り受けている児童クラブにおいては、家賃や地代が運営の負担になっているところもあります。が、今後も国の基準に沿った運

営事業に対する助成を行い、今後円滑かつ継続的な運営ができるよう努めていきます。

経済的困窮家庭に対する減免制度について、生活保護法による生活保護世帯や市民税非課税の母子・父子世帯を対象に、月額7000円を上限として、本市独自に助成を行っています。

公設・民営化の考えについて、民営児童クラブは公営児童クラブに先行して開設をされ、そのほとんどが父母会の運営により、柔軟かつ積極的に取り組みられており、運営面、環境面の差により、放課後児童の健全育成に影響が生じないよう、それぞれのメリットを生かし、共存しながら事業の充実を図っていくことが大切であると考えています。

編集委員会よりご挨拶

本号より6名の議員で構成する「編集委員会」が、この議会だよりの作成にあたることになりました。本年6月に設置された議会活性化等調査特別委員会の決定を受けてのことです。

今回の主な変更点としては、一般質問について質問者の氏名等を記載したこと、その内容は質問者自身が議事録から抽出することにしたことなどです。今後は、一般質問ばかりでなく、さまざまな改善に取り組みまいります。

開かれた議会づくりの一環として、議会のことがよりわかる『議会だより』を目指し、編集委員一同、努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

編集委員（順不同）

豊田一雄 星野隆輝
伊藤篤哉 斎藤 啓
尾林伸治 渡辺則子

その他の質問項目
・佐原市長が所信表明した2期目の市政運営について

全会一致で原案可決等した議案

- ・平成24年度豊橋市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)・平成24年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成24年度豊橋市病院事業会計補正予算(第2号) ・豊橋市実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市手数料条例の一部を改正する条例 ・豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市都市下水路条例を廃止する条例 ・財産の取得(アイプラザ豊橋用地) ・物品購入契約締結(防災ラジオ)
- ・損害賠償の額の決定(市民病院医療事故) ・損害賠償の和解及び額の決定(公用車交通事故)
- ・人権擁護委員候補者の推薦 ・教育委員会委員の任命 ・専決処分の承認

(地域分権一括法関連議案)

- ・豊橋市社会福祉法施行条例 ・豊橋市生活保護法施行条例 ・豊橋市児童福祉法施行条例 ・豊橋市老人福祉法施行条例
- ・豊橋市障害者自立支援法施行条例の一部を改正する条例 ・豊橋市介護保険条例の一部を改正する条例 ・豊橋市医療法施行条例
- ・豊橋市旅館業法施行条例の一部を改正する条例 ・豊橋市興行場法施行条例 ・豊橋市公衆浴場法施行条例
- ・豊橋市理容師法施行条例 ・豊橋市美容師法施行条例 ・豊橋市クリーニング業法施行条例
- ・豊橋市食品衛生条例の一部を改正する条例 ・豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市道路法施行条例 ・豊橋市河川法施行条例 ・豊橋市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行条例
- ・豊橋市営住宅条例の一部を改正する条例 ・豊橋市松葉公園地下駐車場条例及び豊橋市自動車駐車施設条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市都市公園条例の一部を改正する条例
- ・豊橋市水道法施行条例 ・豊橋市下水道条例の一部を改正する条例

賛否が分かれた議案

○ 賛成 × 反対

()は所属議員数	議決結果	会 派 名						
		新政未来 (13)	豊流会 (9)	公明党 (5)	まちフォーラム (5)	日本共産党 (2)	とよはし市民会議 (1)	紘基会 (1)
平成24年度豊橋市 一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	×
指定管理者の指定 (穂の国とよはし芸術劇場)	可決	○	○	○	○	○	○	×

3月定例会の開催日程(予定)

会期:2月28日(木)から3月28日(木)

請願・陳情の締め切り 2月28日(木)17時	2月28日(木)	13時	 本会議(予算大綱説明など)	議場(西館8階)
	質問項目のHP掲載日 3月7日(木)	3月 8日(金)	10時	 (代表質問など)
11日(月)		〃	 (一般質問など)	〃
12日(火)		〃	 (質問者が11人以上の場合)	〃
13日(水)		10時	予算特別委員会(補正予算審査など)	第1委員会室(西館7階)
 はケーブルテレビ、 インターネット中継日	14日(木)	10時	本会議(補正予算議決など) 予算特別委員会(新年度予算審査など)	議場(西館8階) 第1委員会室(西館7階)
	15日(金)	10時	予算特別委員会(新年度予算審査など)	第1委員会室(西館7階)
日程は変更になる場合 もありますので、傍聴の 際には議会事務局 (51-2920)までお問い合わせ ください。	18日(月)	〃	〃	〃
	19日(火)	〃	〃	〃
	21日(木)	〃	〃	〃
	22日(金)	〃	〃	〃
	25日(月)	〃	〃	〃
	26日(火)	10時	常任委員会(請願審査がある場合)	第2委員会室(西館7階)
	28日(木)	13時	本会議(新年度予算議決など)	議場(西館8階)

※本会議を含め全ての会議が傍聴できます

「市議会だより」では、議会の活動状況をわかりやすくお伝えするよう努めています。今後の編集に役立てたいと思いますので、ご意見、ご感想などをお寄せください。